

ふんね

やまざと

VOL.55

[9月定例議会号]

令和元年11月15日

題字揮毫者：大里耕守氏



「南関町商工会 青年部」のみなさん 『生の声を聴く』コーナー(14頁)に登場

南関町商工会 青年部

- 会員数：17人
- 主な活動：南関町の電話帳作成、関所まつりや夏祭りぎおんさんなどのイベントへのビアガーデン等の出店。今年は創立50年を迎え、若い力で地域に貢献している団体です。

なんかんのギカイ

南関町議会の内容を分かりやすくお伝えします。

この議案で討議されました。

1 〈議案第54号〉令和元年度南関町一般会計補正予算（第3号）について

反対討論

（中村議員）補正予算内の庁舎建設費用追加分について反対する。理由は、3月議会で承認された15億円を上限とした入札不調対策が検討されていない。町民の税金を大切に使い、また将来世代への負担をできるだけ少なくするために、2億円の追加がない前提での検討が必要。

賛成討論

（鶴地議員）熊本県内でもあちこちで入札不調になっている。資材の値上がり、人件費の高騰で入札出来ない状況が続いているが、この機会を逃して検討しておれば建設がどれだけ遅れるか判らない。現庁舎は耐震基準を満たしていないし、公民館も強い地震が来ればいつ壊れるか判らない。職員が安心して仕事ができるよう、いろんな催し物も町民が安心して参加できるように、多少の出費は無理をしてでも早く進めるべきである。

反対討論

（立山比呂志議員）設計スタート時点のプロポーザルでは11億だったのが15億になっていた。この間、建設検討委員会で金額の説明はなかった。金額の説明のない進め方はおかしいと思う。入札が不調となり、物価上昇に対応していなかったとして3億2000万円足りなかったと説明があった。その後、設計事務所が検討したら1億数千万円削減ができ、その後数時間で数千万円の削減があった。短い時間の中で、簡単に努力しないで値が下がっていくのは、おかしい。一つ一つ項目ごととしっかりと見直していくべき。

町長は執行部と議会は両輪であるとよく表現されるが、これは両輪でない。執行部が突っ走っているだけ。急ぐ事業ではあるが、執行部と議会が一緒になりもっと必要なもの・削っていいものをしっかりと検討して進めていくべきである。

賛成討論

（杉村議員）どうしてこの予算がこんなに上がってきたことには不本意ではあるが、この事業は遅らせるわけにはいかない。遅れたら遅れるだけ現庁舎内は危険なので、住民に迷惑をかけるので、賛成する。これまで検討してきた中での説明不足であることは腹立たしい。もっとなぜ説明しなかったのか執行部はしっかり反省して欲しい。また予算可決後も期間があるので、そのままの金額で工事に入るのではなく、その期間内で見直して、この金額が下がって行けばいい、十分な検討をしてもらいたい。

反対討論

（打越議員）2億円上がるという事は金額が大きい。地元の人たちに、庁舎建設で2億円が追加になることを伝え、どう考えるか聞いた。地元の米田においては、産業廃棄物処分場を受け入れたが、その後の県道歩道整備はまだ終わっていないし、町道もまだ通っていないではないかとの声が大きい。庁舎建設費用は上げるのではなく、下げていくな、こうした他の事業も進むようになるのではないか。庁舎建設の追加金額2億円は他の事業に使う方が、町民サイドの思いであることから、反対をする。

賛成討論

（井下議員）これまでの経緯と何回も言われてきた議会軽視、この中で金額が変わってきたのは納得いかない。また設計事務所にも大きな不信感を持っている。ただ、現状を見ると熊本市内でも6回の入札が流れている。玉名・益城でも2回3回と流れている。

これからももっとお金が必要になってくると思う。そのままの金額で行くとは思わない。これから議会と行政がしっかり話し合をしていくことであれば、大きな目的である新庁舎建設を一步でも先に進めていくべきである。道路改修、立ち退きも進んでいる。そうしたことも一切反故になってしまう恐れもある。この予算で進めることに賛成する。

町長提出議案 . . . 19 件
 議員提出議案 . . . 0 件

反対討論

(北原議員) 建設検討委員会に参加していたが、進め方において全ての情報が明らかにされることなく進んでいった。町長は協働のまちづくりと言われるが、同じ情報をもって、いろいろな意見が出される状況にあったかと言えば、この委員会は協働というものになされていなかった。この2億円という金額を、17億円の中の2億円と捉えてはいけない。2億円でやる事業はと考えるとまだ他にもたくさんの事業ができる。町民のためにもっと要望される分野に使ってゆきたい。また財政的にも、人口減少に伴い税収も減ってゆくことが予想される中で、固定費としての返済額、比率が毎年長期に上がってゆく。3月議会で決まった予算の中で実行すべきだし、副町長をリーダーとして、この2億円を削り出す仕事をしてもらいたい。

賛成討論

(酒見議員) 賛成だが、苦言を言いたい。昨年の8月に庁舎建設総事業費として約19億2000万円が提示されたが、1年後に24億円となり最終的には26億9000万円の数字が昨日上がってきた。このように小出しにすることは止めて欲しい。こういう風に紛糾するのは最初に言った建設費と今の建設費が大きく違うからこうなる。また不審に思ったのが、3億2000万円の増額となったが、その日のうちに見直し2億円になった。奇怪な話だ。しかしながら、2億円を議会が認めなければ、町民にどういう風に説明するのか。町長は可決後でも、この金額を少しでも削りながら元の計画金額に近づけていくと説明があった。議会は責任のある、常識のある判断の元でこの補正予算を可決しなければならない。ここにきてたがた言うようであれば最初から庁舎建設は止めた方がいいと思う。大切なのは町民に申し開きの出来る議会であって欲しい。

採決

賛成

鶴地・杉村
 井下・酒見
 境田
 5名

採決

反対

中村・立山比呂志
 打越・北原
 西田・立山秀喜
 6名



第6回 南関町議会 臨時会 議案審議


令和元年9月20日

この議案が可決しました。

一般会計補正予算(第4号) 及び特別会計補正予算	庁舎建設費用の補正額を除いた一般会計補正予算および、一般予算から繰り入れがあった特別会計補正を除いた額が可決 <議案第61号~63号>	全会 一致 可決
-----------------------------	--	--------------------

全員協議会 懸案事項審議

令和元年8月21日

産業振興等 奨励金の執行判断	6月議会の一般会計補正予算(第1号)、商工費の企業誘致対策費の「産業振興等奨励金」の内、バンブーフロンティア(株)とバンブーマテリアル(株)については本格稼働を確認してから執行することとなっていた。バンブーフロンティア(株)より本格稼働宣言がなされ、全員協議会中に現地視察をし、採決を取った。	 <small>全員協議会前に、工場内に入り本格稼働状況を視察</small>
-------------------	--	---

採決

賛成

西田・北原・井下
 立山秀喜・打越
 鶴地・酒見・境田
 8名

採決

反対

中村
 立山比呂志
 杉村
 3名



議案審議

質疑なし全会一致で、可決された議案です。

※全ての議案は、事前の常任委員会・全員協議会で質疑・討論を経て、議会での議決となっています。

パートタイム会計年度任用職員の報酬等条約制定	地方公務員法及び地方自治法の一部改正に伴い、町条例を制定する必要があるため〈議案第42号〉	全会一致 可決
フルタイム会計年度任用職員の給与条約制定	地方公務員法及び地方自治法の一部改正に伴い、町条例を制定する必要があるため〈議案第43号〉	全会一致 可決
地方公務員法及び地方自治法改正に伴う条例改正	一部を改正する法律の施行に伴う関係条例の整備に関する条例の規定の整備を行う〈議案第44号〉	全会一致 可決
印鑑の登録及び証明に関する条例の一部改正	氏の変更があった者は住民票に旧氏の記載を求めることができ、印鑑登録原票に旧氏を登録し、証明書に旧氏を記載できる〈議案第45号〉	全会一致 可決
平成30年度会計歳入、歳出決算認定	一般会計及び7つの特別会計の決算認定〈議案第46号～53号〉	全会一致 可決
平成元年度、特別会計補正予算	国民健康保険特別会計補正予算〈議案第55号〉 後期高齢者医療特別会計補正予算〈議案第58号〉	全会一致 可決
過疎地域自立促進計画の変更	給食センターの改修工事を加える〈議案第59号〉	全会一致 可決
副町長の選任に同意	大木 義隆氏を同意〈議案第60号〉	全会一致 可決

議員研修会 報告

熊本県町村議会議員研修会



1. 期日：令和元年 10月 1日
2. 場所：嘉島町民会館
3. 研修結果

演題「これからの議会のあり方・議員への期待」

講師 早稲田大学公共経営大学院教授

元総務大臣・鳥取県知事 片山 義博氏



4月の統一地方選挙では、無投票・なり手不足、そして低い投票率で、地方議会の役割とは何かがあらためて大きな課題となった。

『議会は最高決定機関』…首長は提案権と執行権があるが、決定権は議会である。しっかり見る目を持ち、住民の声を反映する行動が必要。住民報告会は決まったことの説明でなく、これから決めることの対話が必要で住民の参加意識も高まる。一般質問中心でなく、議案処理中心へ。

『議会と首長は両輪』…一人の決定で進めていくのは危うい。客観的考えやチェックをいれて間違わないように見ていくには、一輪車でなく両輪がいい。与党は野党よりもっとしっかりチェックしていく必要あり。など、議会の本来あるべき姿を改めて勉強する場になり有意義だった。
(中村 記)



1. 福岡大同青果株式会社（福岡市）

正式名称は、福岡市農林水産局中央卸売市場青果市場と言い、旧青果市場（博多区那珂）、西部市場（西区石丸）、東部市場（東区下原）の3市場を統合して東区アイランドシティにベジフルスタジアムを開場、総工費約500億円で、敷地面積はヤフオクドームの2倍よりさらに広い約15万㎡、常に福岡都市圏に新鮮な青果物を供給することを意識して、日本最大級の規模となる低温卸売場を完備する青果市場である。



食の安全・安心に向けた取り組みのために、食品衛生検査所を設けて定期的に残留農薬検査を実施。市場内でのせり売上は全体の10%程度で残りの90%は相対取引である。そのために、青果物は鮮度が命なので冷蔵設備を充実させている。A・B列に各11小部屋（450㎡）を設けており、部屋の温度は5度～15度に設定されている。

この市場の総売上高では全国で7～8番目である。大同青果の年間売上約600億、取扱量年間30万トンで、今後35～40万トンを目指している。取扱の多い県は、1位福岡県、2位北海道、3位熊本県で、熊本県の主な青果物はトマト、白菜等で、今後も玉名地区から出荷をお願いされた。

2. 国土情報開発株式会社西日本営業所（福岡市）

当町の地籍管理システムを委託している先を訪れ、今後町にとって必要になるオープンデータについて研修した。オープンデータとは政府や独立行政法人、自治体などが保有する公共データで、国民や企業などから利活用されやすいように機械判読に適した形で二次利用可能なルールの下で公開されている。



町では、税務住民課で土地情報を管理するために「KGS 一筆情報管理システム」とそこで管理されている情報を全庁に配信するための「KGS Web II」を導入している。その情報管理システムの中に、避難所、AED 設置場所、学校等、投票所、文化財（記念物含む）などを入力すれば、利用価値が

出てくる。例えば、有害鳥獣駆除でも有害鳥獣の発見時や被害情報、獣道などの入力を行い駆除隊員が全員共有してその地区を特定し重点的に駆除することが出来る。オープンデータ整備については、さらに研修を行い良いところはすぐにでも導入できるように検討したい。

出ている。例えば、有害鳥獣駆除でも有害鳥獣の発見時や被害情報、獣道などの入力を行い駆除隊員が全員共有してその地区を特定し重点的に駆除することが出来る。オープンデータ整備については、さらに研修を行い良いところはすぐにでも導入できるように検討したい。

3. JA 糸島産直市場 伊都菜彩（糸島市）



店内を視察、時間帯は午前中で雨にも関わらずお客様の多さにびっくりしました。レジが13台あり、フル稼働状態、売上高日本一とのこと。糸島の農家約1,200人が農畜産物を持ち込まれており、玄界灘に面していることから海産物も揃っていた。加工品も多数あった。我が町にも加工品センターがあるので、より多くの方が利用して頂き町の特産物を多く開発し、販売へ繋げて頂きたい。

4. グリーンコープ生協いとしま店（糸島市）

糸島コミュニティ事業研究会の「純国産メンマ作りによる竹林整備」の研修を受けた。国産メンマが無かったため、平成28年度から糸島メンマのブランド化が始まった。



今までは価値のなかった幼竹を活用。幼竹（皮付き）1本あたり600円が、メンマ（塩漬）1本あたり5,000円、メンマ（味付）1本あたり20,000円という付加価値がつく。

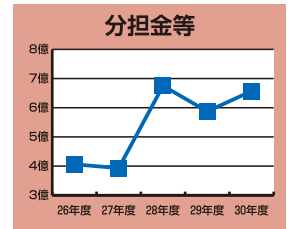
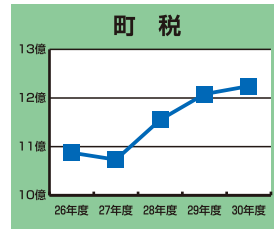
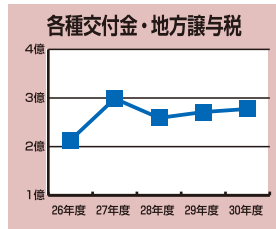
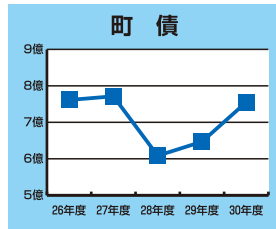
幼竹を採取する事により、竹林荒廃を抑える対策が出来る。我が町においても放置竹林、荒廃竹林の整備へメンマ作りは1つの大きなアイデアではないかと考えさせられた研修になった。そして、糸島メンマの標準作業手順書を頂いてきたので、メンマ作りに興味がある方と総務産業常任委員とで加工センターを使い、メンマ作りを実施するのもいいと思った。



比べてみました!!

平成30年度決算編

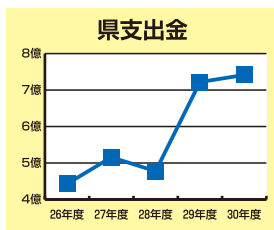
9月議会で、平成30年度南関町一般会計と各特別会計歳入歳出決算が可決されました。
26年度から5年間の決算額の動きを比べてみました。



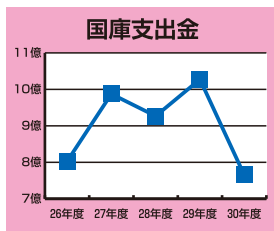
各種交付金・地方譲与税
2億7,747万9千円
4.3%

分担金や負担金
使用料や手数料
繰入金・財産収入
寄付金・諸収入

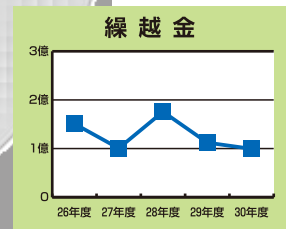
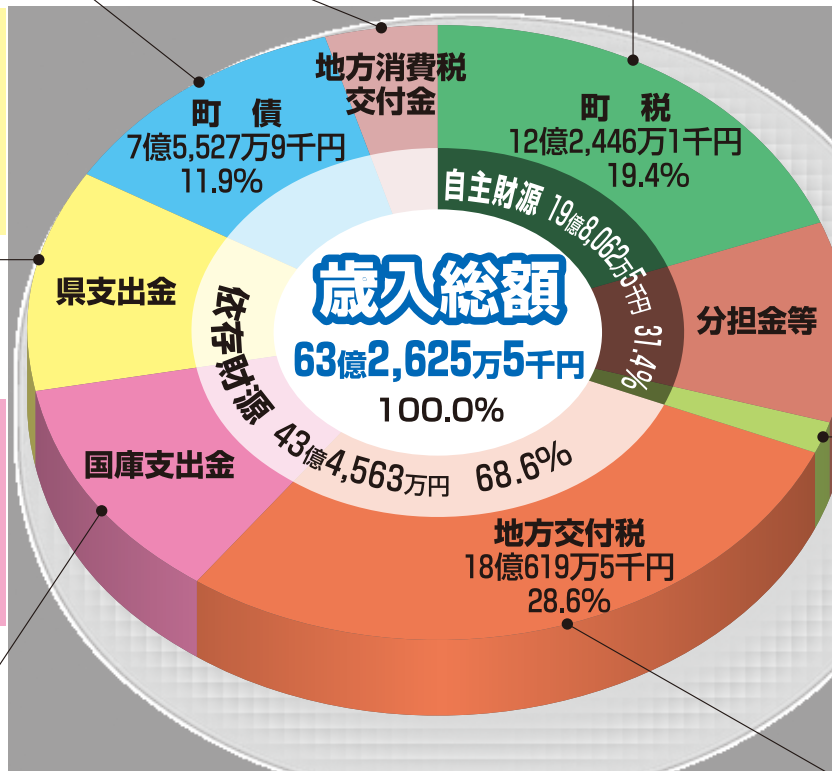
分担金等
6億5,675万円
10.4%



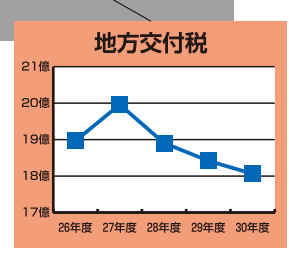
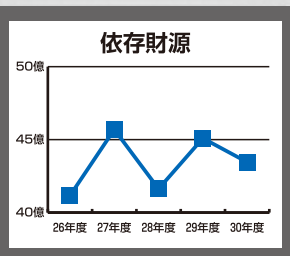
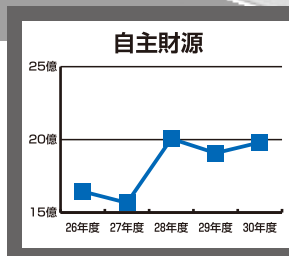
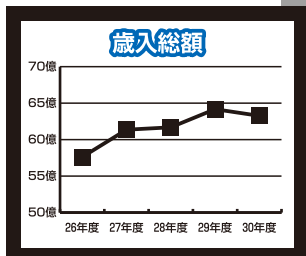
県支出金
7億4,136万4千円
11.7%



国庫支出金
7億6,531万3千円
12.1%



繰越金
9,940万5千円
1.6%



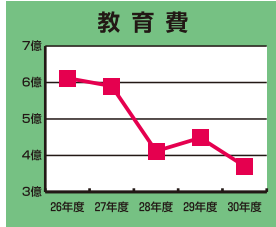
会計別	歳入	歳出	差引残高
一般会計	63億2,625万5千円	61億8,820万7千円	1億3,804万8千円
国民健康保険特別会計	15億3,720万7千円	15億1,309万3千円	2,411万4千円
公共下水道事業特別会計	2億1,022万7千円	2億1,022万7千円	0円
簡易水道事業特別会計	434万8千円	434万8千円	0円
介護保険事業特別会計	14億7,587万2千円	14億1,562万5千円	6,024万7千円
浄化槽整備推進事業特別会計	1億1,887万1千円	1億1,887万1千円	0円
後期高齢者医療特別会計	1億3,137万1千円	1億3,081万4千円	55万7千円
宅地分譲事業特別会計	530万円	530万円	0
合計	98億945万1千円	95億8,648万5千円	2億2,296万6千円

基金残高の推移…町の貯金

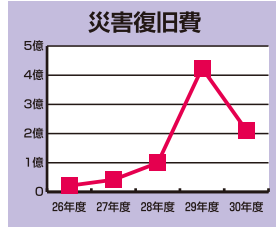
	基金合計	財政調整基金	庁舎等建設基金	ふるさとなんかん応援基金 (ふるさと納税)
平成28年度	30億8,619万円	11億7,672万円	2億2,159万円	2,747万円
平成29年度	30億3,573万円	10億203万円	2億2,166万円	6,562万円
平成30年度	28億7,534万円	7億9,070万円	1億9,262万円	9,745万円

地方債残高の推移…町の借金

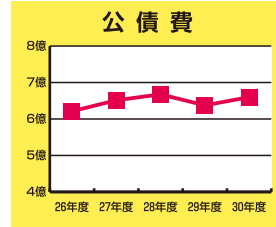
	一般会計 地方債残高合計
平成28年度	66億4,545万円
平成29年度	66億9,706万円
平成30年度	68億2,843万円



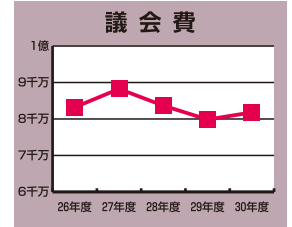
教育費
3億7,050万2千円
6.0%



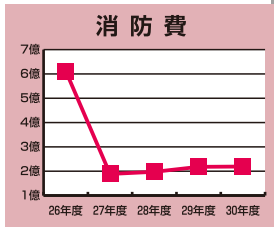
災害復旧費
2億1,120万6千円
3.4%



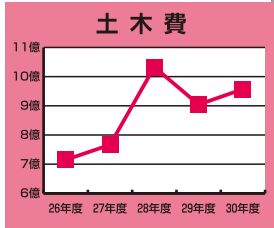
公債費
6億5,985万2千円
10.7%



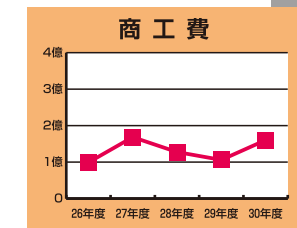
議会費
8,181万円
1.3%



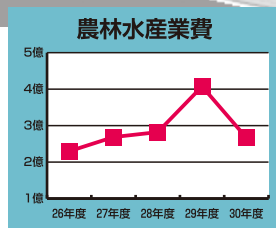
消防費
2億1,914万3千円
3.5%



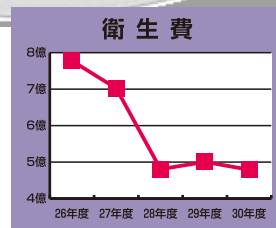
土木費
9億6,708万5千円
15.5%



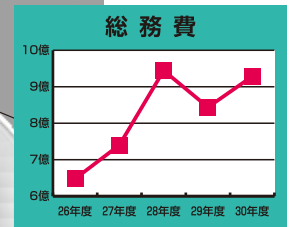
商工費
1億6,013万5千円
2.6%



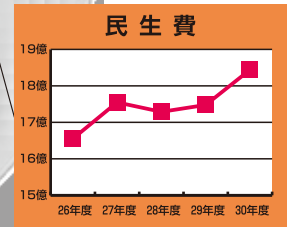
農林水産業費
2億6,674万円
4.3%



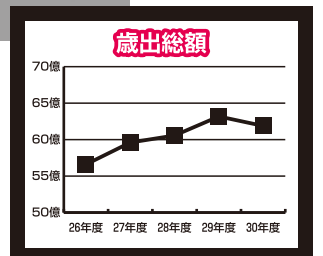
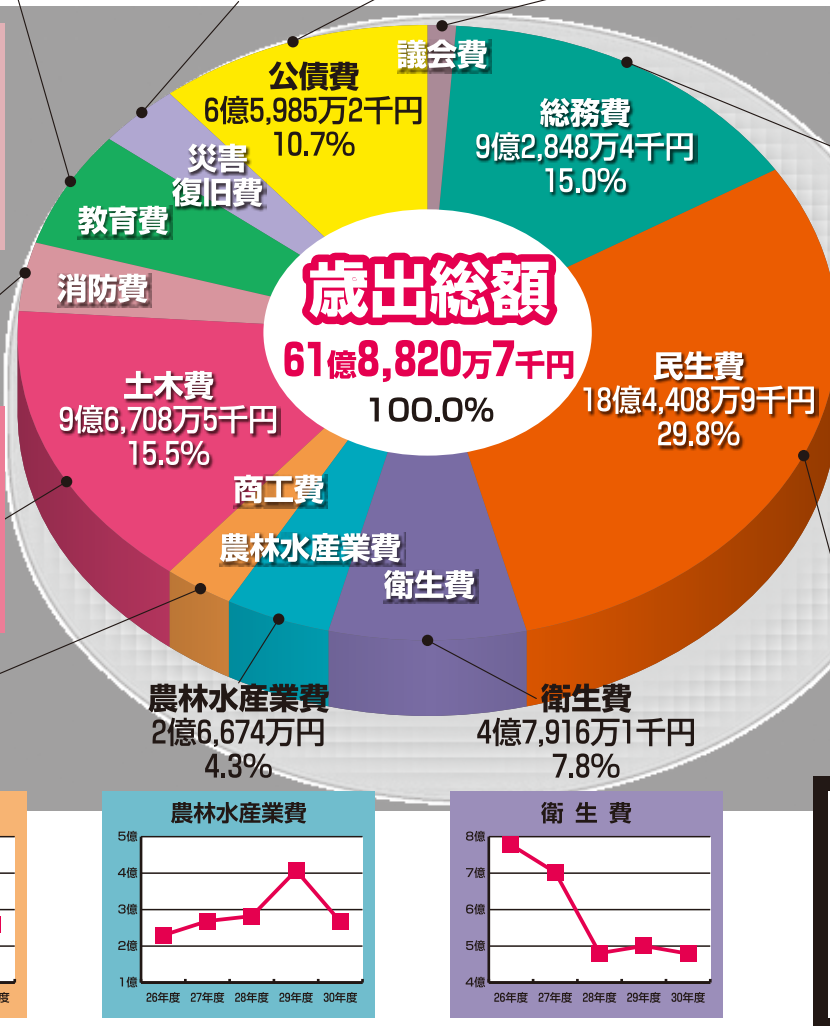
衛生費
4億7,916万1千円
7.8%



総務費
9億2,848万4千円
15.0%



民生費
18億4,408万9千円
29.8%



南関町監査委員 監査意見

予算の執行は歳入歳出とも当初計画に基づき、概ね良好な執行がなされており、経費節減や事務合理化の努力もみられ、各施策においても所期の目的を果たしているものと認めた。経済状況は依然として厳しい状況ではあるが、本年度も一般会計並びに各特別会計の決算が、ともに良好な実質収支で翌年度へ引き継がれていることは、堅実な財政運営がなされている結果として評価するものである。今後も、計画的な施策による効率的な予算執行に努められるとともに、健全な財政運営を堅持されることを望む。

財政諸指数の推移

	標準値	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度
実質収支比率※⑤	3~5%が望ましい	2.8%	5.2%	2.8%	2.7%	3.8%
経常収支比率※⑥	比率が高いほど財政構造の健全化が進んでいる	91.4%	90.7%	94.3%	93.3%	92.4%
財政力指数※⑦	1に近いほど良好	0.36%	0.37%	0.37%	0.38%	0.40%
実質公債費比率	25%を越えると起債発行が制限される	8.4%	8.4%	8.1%	8.0%	7.9%

※⑤実質収支比率
※⑥経常収支比率
※⑦財政力指数

実質収支の適否を判断する指標。
一般財源のうち毎年経常的に支出される経費(人件費・公債費等)に充当されたものが占める割合。
財政力の豊かさを示す指数。

一般質問

みなさんの生活にかかわる大切な内容について質問しました。

- ・一般質問の記事：質問した議員が1300文字程度に要約して執筆したものです。原文を尊重して掲載しています。
- ・発言が「～である」調に記載されていますが、質問・答弁共に「です・ます」調で発言されています。
- ・「会議録」は南関町図書館および町ホームページで閲覧できます。9月議会分は12月に公開予定。



文教厚生常任委員長
議会運営委員

井下忠俊

乗合タクシーについて

乗合タクシーの登録者数と利用者数を尋ねる。

(まちづくり課長) 現在、登録者数は1,600名、H30年度の利用者数は延べ11,539名である。

苦情や新たな要望など上がっているか。

(まちづくり課長) 主な要望として、「予約しても満車の為1時間待たなくてはならない」「勝立まで直接行けないか」等が上がっている。

10月から1台増車により、満車で乗れない状況はいくらか解消されると思う。また新しい車は、車体も少し小さめなので狭い道も入れ、それらの問題は少しずつ解消されていくと思うが、町外についてはどうか。

(まちづくり課長) 現在では、自治体をまたぐということで、乗合タクシー等の乗り継ぎで解決すべき課題があり、さらなる協議を行っているところである。



井下「八角目は越えられないか」 まちづくり課長「検討していく必要はあると思う」

以前、質問した庄山のバス停はどうなっているのか。

(まちづくり課長) 町としても県に確認したが、屋根を作れば歩道幅の規定があり、厳しいという話は聞いている。

陸運局に問い合わせたが、『屋根を設置しても、自転車、歩行者が通り抜けることが出来れば、例外もある。』ということだったので、さらに検討してほしい。また1台増えるということで、日曜日の運行は考えられないか。利用者が10人いれば10通りの利用目的があると思うが・・・。

(町長) 日曜日の運行台数や経費も含め、その必要性など総合的に検討していきたい。

町外ということ言えば、大牟田・南関線の八角目は越えられないか。三池まで行けば、大牟田市の各方面へ交通が繋がる。病院・買い物などに対しても、その利便性は確実に高まると思う。

(まちづくり課長) 三池までの距離と運行時間が問題になってくる。時間帯を指定した運行も含めて検討していく必要はあると思う。

乗合タクシーの待機場所から町内の一番遠い所までと三池までを比べても、どちらも距離で約9km、時間にして約15分と大差はない。ぜひ実現に向け検討してほしい。

免許証返納について

昨年の返納者数と、返納にあたって

の申請方法は。

(町長) 玉名警察署の資料によると、35名が返納されておりその方法は、玉名警察署免許係で手続きが出来る。



返納者に対して町の優遇措置はあるのか。

(町長) 返納日から6ヵ月有効の乗合タクシーの無料乗車券の交付。またホテルセキアの温泉施設利用についても、運転履歴証明書を提示すれば一定の割引が受けられる。

あくまで自主返納であって、更新しなかった方には適応されないのか。

(まちづくり課長) 公的な証明が取れないのであれば難しいと思う。

まとめ

最近、高齢者ドライバー事故のニュースが増え、それに合わせるように、世間では免許証の返納を呼びかけているが、後のことも考えずに返納を呼びかけるのは、非常に無責任に思う。高齢者の方達こそ、より多く外出してもらい楽しみを持って頂くのが、福祉の面からも一番の願いと思う。要介護状態になるリスクは、運転をされる方に対し約2倍との報告があり、外出減が主な理由だと思う。幸いにも南関町には乗合タクシーが走っている。利便性を追求し、安心して免許証を返納してもらえよう、勤めてもらいたい。